

## 第 11 回名立区地域協議会 次第

日時：令和 4 年 2 月 22 日（火） 午後 6 時 30 分から  
場所：名立区総合事務所 2 階 第 2 会議室

### 1 開 会

### 2 協議事項

(1)令和 4 年度地域活動支援事業審査方針について …資料 No. 1

(2)自主的審議事項「ろばた館の存続に向けて」 …資料 No. 2

### 3 その他事項

令和 3 年度第 12 回地域協議会の開催予定

・令和 4 年 月 日（ ）午後 時 分から

### 4 閉 会

## 令和4年度上越市地域活動支援事業名立区審査方針

この方針は、上越市地域活動支援事業を採択するにあたり、名立区地域協議会で審査する際に必要な事項を定める。

### 1 名立区地域協議会の事業審査等の内容

名立区総合事務所長から審査依頼を受けた提案事業の採択の可否等について、地域協議会で審査を行う。

- (1) 提案事業の審査
- (2) 審査結果に基づく採択事業の優先順位付け
- (3) 優先順位に基づく補助事業費の調整
- (4) その他審査に関連する事項

### 2 採択方針

名立区の地域特性・地域資源である豊かな自然の恵み（不動山～名立川～日本海のラインを縦軸とし、その周辺に広がる豊かな自然）をいかし、名立区が目指す将来像である「だれもがいつまでも住みよいまちづくり」に向けて、地域住民が自主的、主体的に取り組む事業を採択する。

＜地域特性・地域資源の視点＞

「地域特性・地域資源」とは、自然環境にとどまらず、歴史文化、教育、産業、交通など、名立区の有する地域の特徴や魅力全体を指すものであり、そうしたものをいかす事業として下記の事業区分にあるような取組みが挙げられる。

事業区分
1.地域特性、地域資源をいかしたまちづくり事業
2.景観形成、生活環境の向上事業
3.安全安心な地域づくり事業
4.健康・福祉の充実事業
5.教育・文化・スポーツ活動の振興事業
6.自然環境保全事業
7.地域特性、地域資源をいかした観光振興事業
8.地域間等との交流事業
9.その他、名立区の活性化につながる事業

### 3 審査基準

上越市地域活動支援事業の事業提案について、下表の審査基準に基づき審査する。

#### (1) 全市共通の審査項目

審査項目	審査基準	点数
①公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案事業の成果が広く地域に還元されるものか。</li> <li>補助金を充てて購入した物品や修繕した施設等が、長く地域で活用される見込みがあるかどうか。</li> <li>全市的な方向性と合致しているか。</li> <li>提案者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。</li> </ul>	5・4・3・2・1・0 点
②必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の課題解決や活力向上に効果が見込まれる取組であるか。</li> <li>地域の実情や住民要望に対応したものか。</li> <li>緊急性の高い提案事業であるか。</li> <li>ほかの方法で代替できないものであるか。</li> <li>補助金を充てる経費が、提案事業を実施する上で不可欠なものであり、その規模も必要な限度となっているか。</li> </ul>	5・4・3・2・1・0 点
③実現性	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標（達成すべきこと）や事業内容が明確なものか。</li> <li>関係者との合意形成や組織内部での実施態勢が整っているか。</li> <li>資金調達の規模や時期に無理はないか。</li> </ul>	5・4・3・2・1・0 点
④参加性	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案事業の実施に当たり、提案者に限らず多くの住民等の参加が期待できるものか。</li> </ul>	5・4・3・2・1・0 点
⑤発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい発想が感じられる取組や、先進的な取組であるか。</li> <li>事業の終了後における継続性や自立性、発展性は期待できるか。</li> <li>提案団体は、信頼性、将来性、継続性はあるか。</li> </ul>	5・4・3・2・1・0 点
小 計 (25点満点)		⑦ 点

#### (2) 名立区独自の審査項目

審査項目	審査基準	点数
①地域課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の課題についての認識はあるか。</li> </ul>	5・4・3・2・1・0 点
②地域特性・地域資源の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性、地域資源が何か的確にとらえているか。</li> </ul>	5・4・3・2・1・0 点
③地域特性・地域資源の活用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域特性、地域資源を有効に活用しているか。</li> </ul>	5・4・3・2・1・0 点
④事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>この事業で何を期待するか。</li> <li>地域課題の解消につながるものか。</li> </ul>	5・4・3・2・1・0 点
⑤名立区の将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来像とのつながりや整合性があるか。</li> </ul>	5・4・3・2・1・0 点
小 計 (25点満点)		① 点

合 計 (50点満点)	⑦+① 点
-------------	-------

- ・ 5点…優れている
- ・ 4点…やや優れている
- ・ 3点…普通
- ・ 2点…やや劣っている
- ・ 1点…劣っている
- ・ 0点…評価に値しない

### (3) 採択基準点

提案事業の採択基準点は、審査員の全体の採点の平均点で30点を上回るものとする。

## 4 補助率及び補助金の交付

### (1) 補助金の額

補助金額は、1事業につき下限を5万円、上限を100万円とし、千円単位で交付する(千円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てた額)。

ただし、同一団体が複数の事業を申請する場合は、補助金額の合計が100万円を超えないものとする。

### (2) 補助率

補助率は、原則的に補助対象事業費の100%とする。

## 5 その他

### (1) 事業実施年度

上越市地域活動支援事業は、当該年度内に事業が完了するものとする。

なお、複数年におよぶ継続事業の場合でも、各年度で事業提案を行い、審査を受けるものとする。

### (2) 事業総額が予算を超える場合

採択(予定)事業の補助希望額が予算を超える場合は、地域協議会において予算の範囲内になるように調整する。

### ~~(3) 事業の追加募集~~

~~採択(予定)事業の補助希望額が予算の範囲内の場合は、事業の追加募集を行うことができる。~~

### (3) 利害関係を有する地域協議会委員の審査除外

提案事業の審査に際し、地域協議会の委員が事業提案団体等の役員の場合は、その提案事業の審査からはずれるものとする。

### (4) 事業実施条件等

地域協議会で事業実施内容に条件を付することができる。

### (5) 提案者の説明(プレゼンテーション)

地域協議会の審査にあたり、必要に応じて提案者の説明(プレゼンテーション)を実施し、提案者との質疑応答の後、採点を行うものとする。

※ この審査方針は、令和4年 月 日開催の令和3年度第 回地域協議会において策定した。

# 上越市地域活動支援事業名立区審査方針に関する内規

## 1 目的

この内規は、上越市地域活動支援事業名立区審査方針に関する詳細な事項について定める。

## 2 審査方法等について

### (1) 提案者の説明（プレゼンテーション）

- 提案者による事業説明は5分以内、説明後の質疑応答は5分以内とする。
- プレゼンテーション前に提案された事業内容の採択にあたり、条件を付けたり、補助金を減額する場合があることを提案者に説明するとともに、提案者から了解を求める。

### (2) 基本審査

- 事業提案書を受け付ける段階で、地域活動支援事業の目的と合致しているか確認していることから、基本審査は行わない。

### (3) 全体協議

- 全市共通審査及び名立区独自審査に関して、採点後にそれぞれの提案事業ごとに委員全体で協議し、点数を確定させて採択等を決定する。
- 採択の可否決定後に採択条件や不採択理由など、提案者に伝える事項がある場合は具体的な内容について、委員全体で協議する。
- 採択基準点を上回ったものの、全体協議において内容や事業費を再考することを条件とした場合、提案者と事務局が調整を行い、改めて提出された提案書に基づき会長が可否を決定する。

### (4) 補助金額の調整

- 採択の結果、助成事業の補助金額の合計が名立区の配分額を超える場合は、採択した全事業について委員全体で協議し、補助金額を決定する。

## 3 その他

この他に審査に関する必要事項がある場合は、委員全体で協議のうえ定めるものとする。

※ この内規は、令和4年 月 日開催の令和3年度第 回地域協議会において策定した。

## 意見書（案）

令和4年2月〇日

上越市長 中川 幹太 様

名立区地域協議会  
会長 原田 秀樹

## ろばた館の存続について（意見書）

このことについて、当協議会において下記のとおり意見を取りまとめましたので、提出いたします。

## 記

## 1 名立区地域協議会における検討経過

## (1) 自主的審議事項前の検討

当協議会においては、平成29(2017)年に、「ろばた館の存続について」を自主的審議事項として協議することも視野に入れ、勉強会形式で検討・協議を始めました。

その後、情報収集や意見交換を経る中で、ろばた館が「地域の生活環境の改善及び活性化を図り、市民の福祉の向上に資するための地域活性化施設」として設置されたことに立ち返るとともに、今後の名立区の地域活性化に向け、ろばた館の運営に対して地域として具体的かつ実効性のある取組を検討しなければならない時期に来ているものと考え、平成30(2018)年3月に自主的審議事項として審議を開始しました。

## (2) 住民意向調査の計画

自主的審議事項の審議に当たり、地域住民の意向を把握するため、平成30(2018)年に区内住民へのアンケート実施を計画しましたが、市担当課との調整が整わず、最終的にアンケートを中止としたこともあり、その後、審議は一時中断となりました。

## (3) 市の考え方

その後も勉強会による情報収集と意見交換を継続してきた中で、市からは令和2(2020)年2月の行政懇談会において、ろばた館を廃止の方向で、また、同年7月の勉強会において、温浴と食堂機能を廃止する方向で検討したいとの報告がありました。さらに、同年9月の地域協議会で「第4次上越市公の施設の適正配置計画」において、ろばた館を「引き続き協議」とする方針が示されたことを受け、自主的審議を再開しました。

## 2 地域住民の意向調査

### (1) 意見交換等

自主的審議事項として審議を再開するにあたり、ろばた館に関係する多くの団体との意見交換や総合事務所による行政懇談会の場を借りての地域住民との意見交換、区民へのアンケート調査による意向の把握や意見聴取を行いました。

### (2) 住民アンケート実施

ろばた館に関するアンケートについては名立区内の年齢構成に応じて無作為抽出した800人に依頼し、約50%にあたる397件の回答がありました。

なお、アンケート結果からはろばた館が地域にとって「温浴施設」「地域の憩いの場、集いの場」として愛着が深いことが伺えるとともに、今後もろばた館の存続を望む回答が多く寄せられました。

## 3 意見の取りまとめ内容

委員や住民の中には市からのろばた館の廃止又は一部機能の廃止理由について一定の理解を示す意見もありましたが、関係団体との意見交換やアンケート結果において、また、委員の中にも施設の存続を望む声が多かったことから、総括的な考察・検討を行った結果、次のとおり意見を取りまとめました。

- (1) 人口減少・少子高齢化が進行する名立区における地域活性化、中山間地振興の中心施設として今後も存続が必要である。
- (2) 温浴施設として存続することで地域住民にとっては憩いや集いの場になるとともに、名立区外からの交流人口増加につながる。
- (3) 地域防災施設（避難所）として新型コロナウイルス等の感染症対策に配慮した一定のスペースを確保できる施設であり、防災備品の保管も可能であることから、地域住民の安全安心な暮らしを維持するために、近隣の公民館上名立分館では代替できない施設である。

以上のことから、ろばた館を現在の機能を維持したまま存続することを求めるものです。

なお、ろばた館の機能維持も含め、存続可能な運用方法を見出すべく、名立のまちづくりの将来像である「名立まちづくり計画」を策定した名立まちづくり協議会とも連携し、地域の活性化、中山間地域振興に向けた施設活用について、当協議会を中心に区内で継続的に協議する場を設けていく考えです。

### <添付資料>

- ・名立区地域協議会での審議経過
- ・ろばた館に関するアンケート 集計結果

## 名立区地域協議会での審議経過

平成 29 年度～令和 3 年度

平成 29 年度	
10 月 30 日(金)	勉強会（第 7 回地域協議会終了後）
12 月 15 日(金)	勉強会（第 9 回地域協議会終了後）
1 月 25 日(木)	勉強会（第 10 回地域協議会終了後）
2 月 21 日(水)	勉強会（第 11 回地域協議会終了後） ※自主的審議事項とすることを決定
3 月 20 日(火)	第 12 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項
平成 30 年度	
4 月 16 日(火)	第 1 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項
5 月 14 日(火)	正・副会長等へのアンケート中止に係る経過と今後の対応について説明及び協議（名立区総合事務所 第 3 会議室） ※自治・地域振興課、名立区
5 月 26 日(火)	勉強会（第 2 回地域協議会終了後）
9 月 28 日(金)	勉強会（第 6 回地域協議会終了後） ※行政改革推進課、自治・地域振興課からの説明及び質疑応答
10 月 25 日(木)	勉強会（第 7 回地域協議会終了後）
令和元年度	
8 月 27 日(火)	勉強会（第 5 回地域協議会終了後） ※農村振興課による現状説明及び質疑応答
9 月 4 日(水)	農村振興課による正・副会長への事前説明 （名立区総合事務所 第 3 会議室）
9 月 25 日(水)	勉強会（第 6 回地域協議会終了後） ※農村振興課による現状説明及び質疑応答
10 月 24 日(木)	勉強会（第 7 回地域協議会終了後） ※委員間での意見交換
12 月 26 日(木)	農村振興課と正・副会長との協議 （名立区総合事務所 第 3 会議室）
1 月 27 日(月)	第 11 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項
令和 2 年度	
7 月 2 日(木)	勉強会（第 3 回地域協議会終了後） ※農村振興課による現状説明及び質疑応答
9 月 17 日(木)	第 5 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項
10 月 8 日(木)	第 6 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項
10 月 20 日(火)	第 7 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項
11 月 26 日(木)	第 8 回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※委員から前回のアンケートが直前になり中止になってしまった。民意を行政に届ける方法を考えてほしいとの意見あり。



12月15日(火)	第9回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※委員から以前断念したアンケートについて内容を再検討して実施したらどうかの意見あり。
1月19日(火)	第10回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※会長からアンケート内容について分科会で検討したらどうか提案あり。
2月24日(水)	第11回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※2分科会を開催し、継続審議することに決定
3月3日(水)	第1回第2分科会（関係団体との懇談会で出された意見の整理）
3月4日(木)	第1回第1分科会（ろばた館に関するアンケート内容の検討）
<b>令和3年度</b>	
4月8日(木)	第2回第2分科会（関係団体との懇談会で出された意見の整理）
4月15日(木)	第2回第1分科会（ろばた館に関するアンケート内容の検討）
4月20日(火)	第1回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※各分科会報告（アンケート内容の検討）
5月19日(水)	第3回第1分科会（ろばた館に関するアンケート内容の検討）
6月17日(木)	第1・第2合同分科会（アンケート内容と実施日程の検討）
6月29日(火)	第3回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※アンケート実施(案)についての確認
7月21日(水)	第4回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※アンケートの発送準備について
9月10日(金)	第1・第2合同分科会（アンケート速報値の確認及び今後の進め方の検討）
10月6日(水)	第3回第2分科会（アンケート結果を受けた分科会としての意見まとめ）
10月7日(木)	第4回第1分科会（アンケート結果を受けた分科会としての意見まとめ）
10月19日(火)	第7回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※各分科会報告（分科会での議論結果を報告）
10月19日(火)	第1・第2合同分科会（意見集約の方法の検討）
11月10日(水)	第4回第2分科会（意見集約に向けた分科会の意見まとめ）
11月11日(木)	第5回第1分科会（意見集約に向けた分科会の意見まとめ）
11月22日(月)	第1・第2分科会の意見すり合わせ
11月24日(水)	第8回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※各分科会報告（分科会での議論結果を報告）
11月24日(水)	第1・第2合同分科会（意見書の構成の検討）
12月16日(木)	第9回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※意見書(案)について
12月16日(木)	第1・第2合同分科会（意見書(案)について）
1月26日(水)	第10回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※意見書の構成について
2月22日(火)	第11回地域協議会「ろばた館の存続に向けて」自主的審議事項 ※意見書(案)について

※勉強会、分科会は非公開

## ろばた館に関するアンケート 集計結果

■実施期間：令和3年7月28日～8月18日

■送付数：800通（18歳以上の区内住民から区内の年齢構成に応じて無作為抽出）

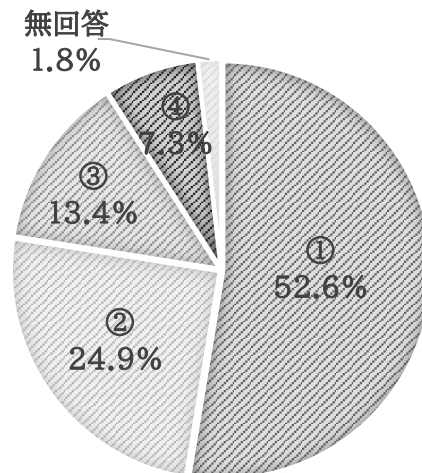
■回答数：397件

■回答数：49.6%

※複数回答の設問もあるため、回答数の合計は異なります。

### ○お住まいの地区は

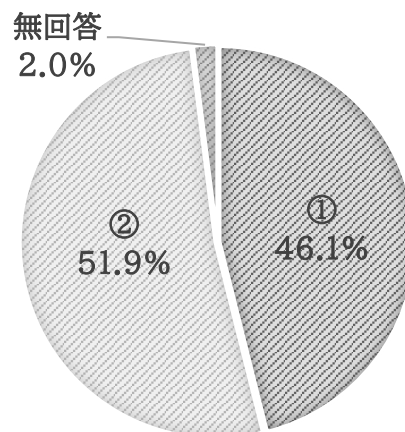
項目	回答数（比率）
① 北部地区	209（52.6%）
② 下名立地区	99（24.9%）
③ 上名立地区	53（13.4%）
④ 不動地区	29（7.3%）
無回答	7（1.8%）



名立区内の居住分布を反映した割合になっています。

### ○性別は

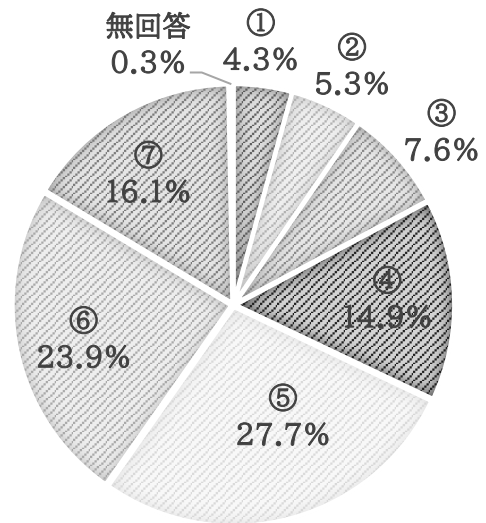
項目	回答数（比率）
① 男性	183（46.1%）
② 女性	206（51.9%）
無回答	8（2.0%）



区内の男女構成比とほぼ同様になっています。

### ○年齢は

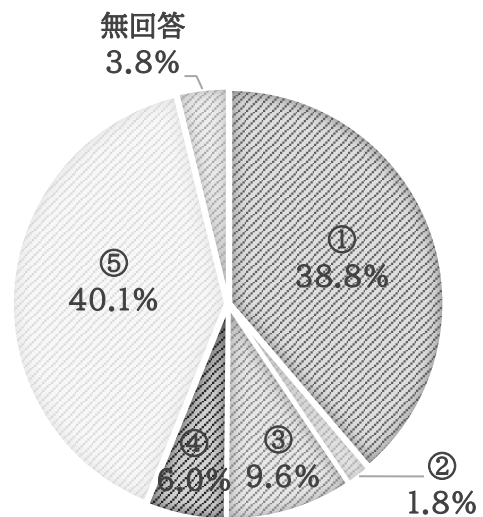
項目	回答数 (比率)
① 18歳～29歳	17 (4.3%)
② 30歳代	21 (5.3%)
③ 40歳代	30 (7.6%)
④ 50歳代	59 (14.9%)
⑤ 60歳代	110 (27.7%)
⑥ 70歳代	95 (23.9%)
⑦ 80歳代	64 (16.1%)
無回答	1 (0.3%)



年齢区分で無作為抽出したため、年齢構成比が高い60代～80代の回答が約7割を占めています。

### ○ご職業は

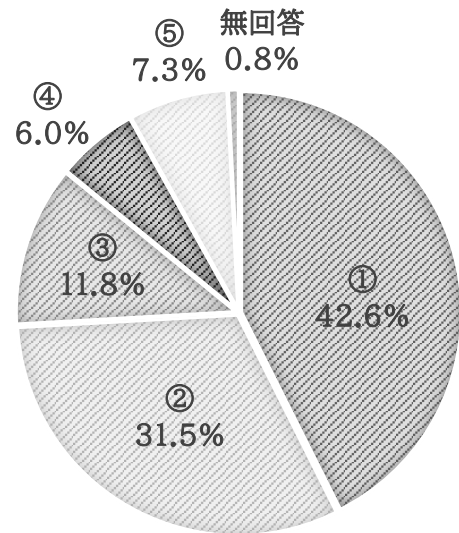
項目	回答数 (比率)
① 無職	154 (38.8%)
② 学生	7 (1.8%)
③ 漁業・農業	38 (9.6%)
④ 自営業	24 (6.0%)
⑤ 会社員・公務員	159 (40.1%)
無回答	15 (3.8%)



会社員・公務員と無職が多くなっています。

問 1. 何回程度ろばた館を利用しますか（食事のみを含む）

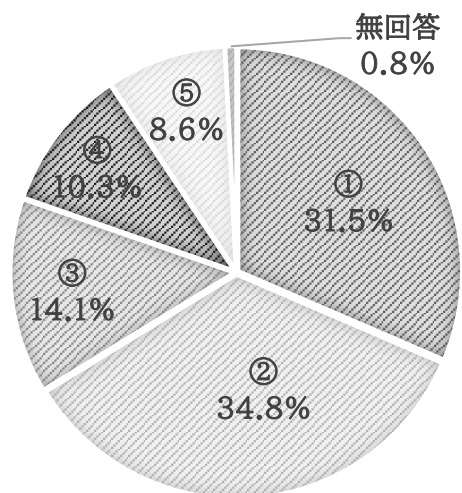
項目	回答数（比率）
① 全く利用しない	169（42.6%）
② 年2～3回程度	125（31.5%）
③ 年5～6回程度	47（11.8%）
④ 月1回程度	24（6.0%）
⑤ それ以上	29（7.3%）
無回答	3（0.8%）



ろばた館を全く利用しない人が約 4 割ですが、区内でも比較的ろばた館から遠い北部地区の回答者が約 5 割であることを考えると相応の結果ではと推察します。また、頻繁（月 1 回以上）に利用する人も 1 割以上いました。

問 2. 何回程度うみてらす名立のゆららを利用しますか（食事のみを含む）

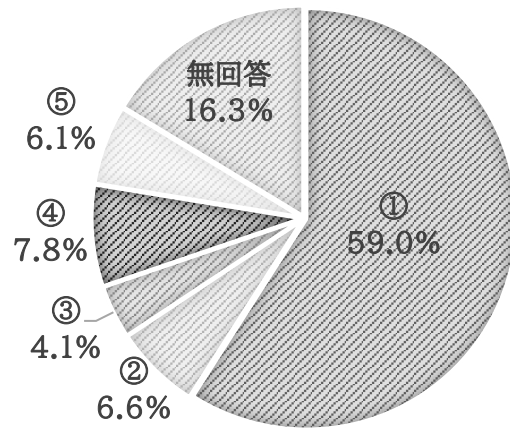
① 全く利用しない	125（31.5%）
② 年2～3回程度	138（34.8%）
③ 年5～6回程度	56（14.1%）
④ 月1回程度	41（10.3%）
⑤ それ以上	34（8.6%）
無回答	3（0.8%）



ろばた館とゆららを比較した設問ですが、全く利用しない人が約 3 割と意外に多くいる一方、頻繁（月 1 回以上）に利用する人も 2 割弱とかなり多くいました。

問 3. ろばた館を利用する場合どの時期が多いですか

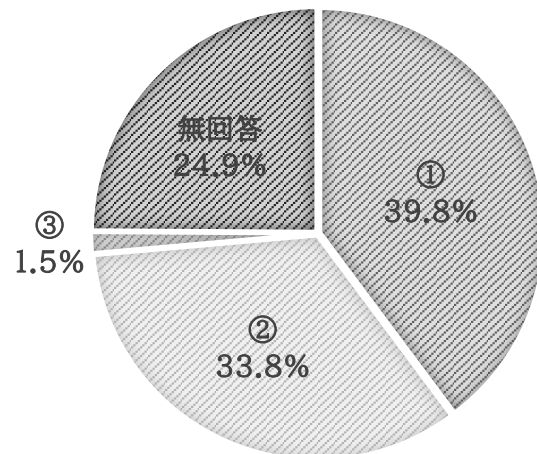
項目	回答数 (比率)
① 特に時期関係ない	242 (59.0%)
② 春	27 (6.6%)
③ 夏	17 (4.1%)
④ 秋	32 (7.8%)
⑤ 冬	25 (6.1%)
無回答	67 (16.3%)



利用する時期については、季節による影響はあまり見られませんでした。

問 4. ろばた館を利用する場合どの日が多いですか

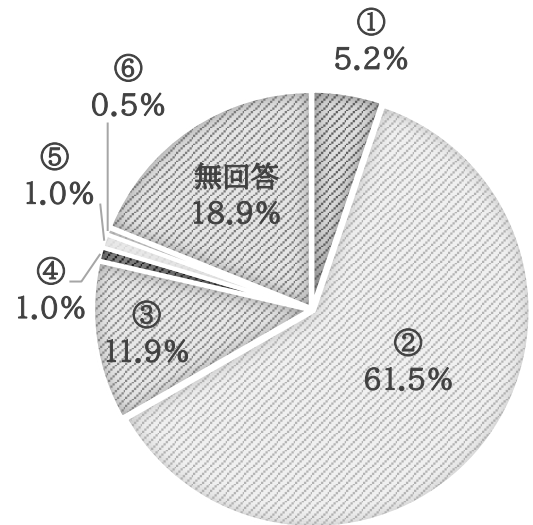
項目	回答数 (比率)
① 平日	161 (39.8%)
② 土曜・日曜	137 (33.8%)
③ 祝日	6 (1.5%)
無回答	101 (24.9%)



曜日による利用の偏りはあまり見られませんでした。

問 5. ろばた館を利用する主な交通手段は

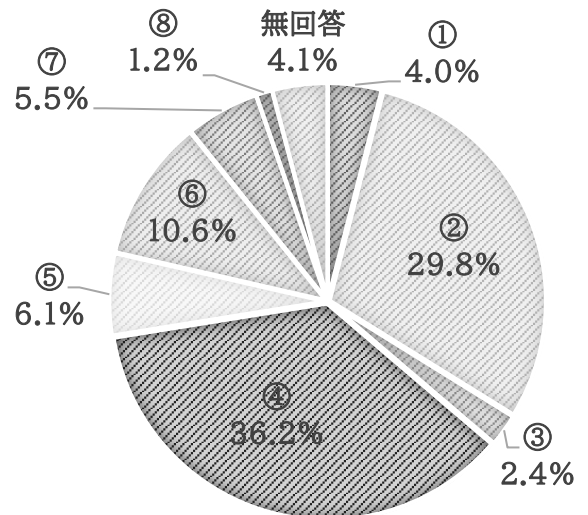
項目	回答数 (比率)
① 市営バス	21 (5.2%)
② 自身所有自家用車	248 (61.5%)
③ 友人知人の自家用車同乗	48 (11.9%)
④ 徒歩	4 (1.0%)
⑤ バイク・自転車・電動セニアカー	4 (1.0%)
⑥ その他	2 (0.5%)
無回答	76 (18.9%)



自家用車の方が一番多く、次に友人知人の乗り合わせとなっていますが、利用促進している市営バス利用は5.2%となっています。

問 6. あなたにとってろばた館とはどのような施設ですか (複数回答可)

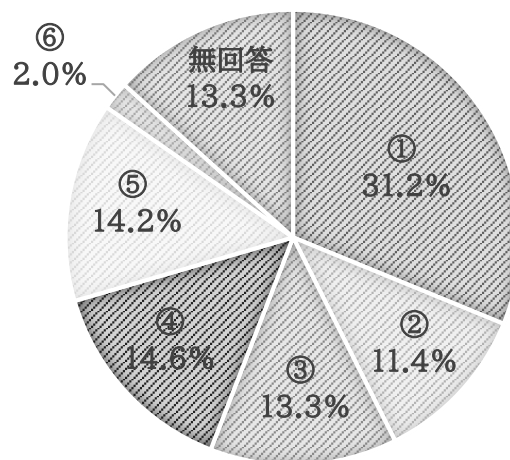
項目	回答数 (比率)
① 避難所	26 (4.0%)
② 地域の憩い、集いの場	195 (29.8%)
③ 都市と農村の交流の場	16 (2.4%)
④ 温浴施設	237 (36.2%)
⑤ 健康福祉の場	40 (6.1%)
⑥ 会議やイベントの場	69 (10.6%)
⑦ よくわからない	36 (5.5%)
⑧ その他	8 (1.2%)
無回答	27 (4.1%)



「温浴施設」としての認識が一番多く、次に「地域の憩い、集いの場」としての認識が多くなっており、その2点の認識で6割を超えています。

問 7. ろばた館を利用する主な理由は（複数回答可）

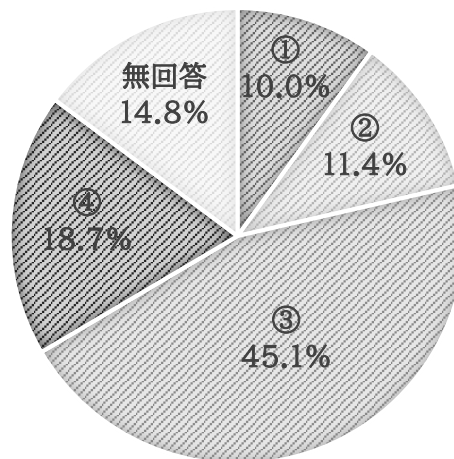
項目	回答数（比率）
① 気軽に利用できるから	218（31.2%）
② 大広間や会議など施設がいいから	80（11.4%）
③ 近いから	93（13.3%）
④ 料金が安いから	102（14.6%）
⑤ 温浴の泉質がいいから	99（14.2%）
⑥ その他	14（2.0%）
無回答	93（13.3%）



泉質がいい温浴を、安価で気軽に利用できるという、ろばた館ならではの理由が現れています。

問 8. ろばた館の温浴機能について

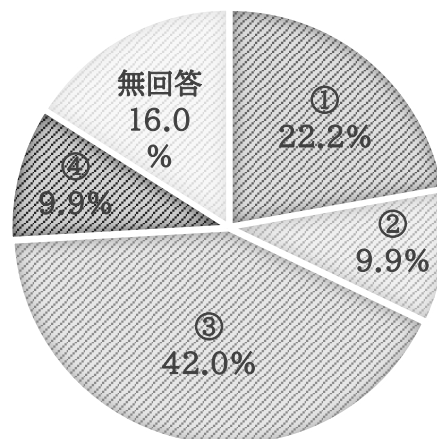
項目	回答数（比率）
① 温浴機能はなくてもいい	41（10.0%）
② 料金が上がるならなくてもいい	47（11.4%）
③ 多少の値上げがあっても温浴機能は必要	186（45.1%）
④ 絶対に必要	77（18.7%）
無回答	61（14.8%）



温浴機能について、「絶対に必要」と「値上げがあっても必要」を合わせて6割を超えています。温浴機能を望む声が現れた形となっています。

### 問 9. ろばた館の食堂について

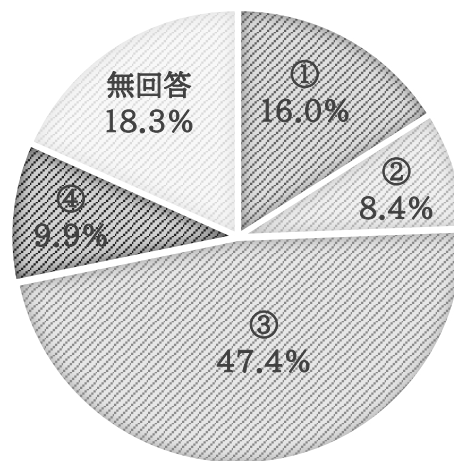
項目	回答数 (比率)
① 食堂はなくてもいい	90 (22.2%)
② 料金が上がるならなくてもいい	40 (9.9%)
③ 多少の値上げがあっても食堂は必要	170 (42.0%)
④ 絶対に必要	40 (9.9%)
無回答	65 (16.0%)



食堂の機能について、「絶対に必要」と「値上げがあっても必要」を合わせて5割を超えています。

### 問 10. ろばた館の貸館機能について

項目	回答数 (比率)
① 貸館機能はなくてもいい	65 (16.0%)
② 料金が上がるならなくてもいい	34 (8.4%)
③ 多少の値上げがあっても貸館機能は必要	192 (47.4%)
④ 絶対に必要	40 (9.9%)
無回答	74 (18.3%)

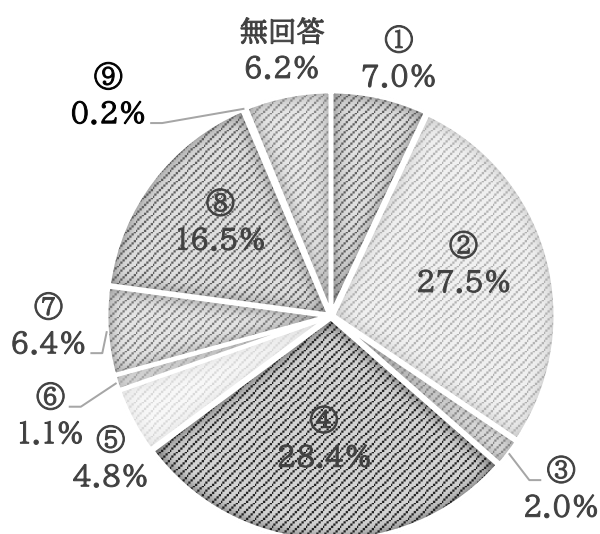


貸館機能について、「絶対に必要」と「値上げがあっても必要」を合わせて5割を超えています。安価で気軽に利用できるという問7の理由が、貸館機能においても当てはまるものと推察されます。



問 11. ろばた館が廃止となった場合いちばん困ることは

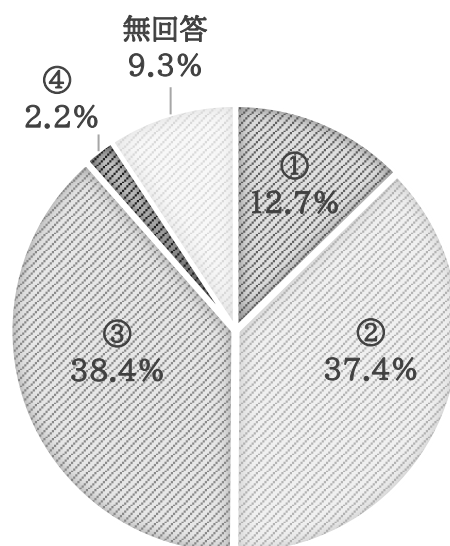
項目	回答数 (比率)
① 避難場所に困る	38 (7.0%)
② 地域の憩い、集いの場に困る	150 (27.5%)
③ 都市と農村の交流の場に困る	11 (2.0%)
④ 入浴や温泉を楽しむ場に困る	155 (28.4%)
⑤ 健康福祉の場に困る	26 (4.8%)
⑥ 食事場所に困る	6 (1.1%)
⑦ 会議やイベントの場に困る	35 (6.4%)
⑧ 特に困ることはない	90 (16.5%)
⑨ その他	1 (0.2%)
無回答	34 (6.2%)



「入浴や温泉を楽しむ場に困る」と「地域の憩い、集いの場に困る」という答えが合わせて5割を超えています。また、何らかの形で困る方が合わせて7割を超えています。本施設が重要な施設と多くの方が認識されていることが推察されます。

問 12. ろばた館の今後についてどう思いますか

項目	回答数 (比率)
① 公費が多く投入されている状況なので廃止する	52 (12.7%)
② 施設の機能を整理・検討し、必要な機能だけで存続する	153 (37.4%)
③ 料金の値上げや地域により運営の負担が増えることになって、行政・地区住民が一体となって継続的に存続の方法を探る	157 (38.4%)
④ その他	9 (2.2%)
無回答	38 (9.3%)



「行政・地区住民が一体となって継続的に存続の方法を探る」が一番多く、次に「必要な機能だけで存続する」が多くなっており、両回答を合わせたろばた館の存続を求める回答が7割超と多くを占めています。

## アンケート自由記載一覧

- ・家で過ごすのにろばた館は風呂もあるし楽しみの場として必要です。この地域で他にいくところもありません。スーパーに行くくらいです。ろばた館はいこいの場です。今後も少し料金が高くなっても止めないでほしいです。
- ・出来た頃若かったのでバスで友達と随分通って楽しみましたしバスで通った頃懐かしいです。自然の中で過ごしたあのろばた館 友と過ごしたあの若いころ上名立小学校又懐かしい小田島、東蒲生田、西蒲生田、平谷、下名立地区の部落 懐かしいです。有難う。
- ・名立が沈んでしまう。区外からの「のんびりできる」どこにもないと…何回も入浴できる。うみてらは入浴の際所持品をすべて持つ。席に置くと場所取りとして荷物を移動させたり放送をする。区外からはあせあせとした落ち着きがない。「これは改善して欲しい」
- ・利用していないのでわからない
- ・名立区南部方面にとっては大事に思う心のよりどころという面があり仮に無くなった時を想像したらますます元気がなくなる気がする。
- ・ここに来ないと食べられない様なメニューなど区外からも来たくなるようなものがあるともう少し客足が増えるのかなと思います。
- ・欲を言うなら風呂場がもう少し広ければ良いと思います。でもいつもきれいにしてあり、とても良いと思います。
- ・憩いの場がないので廃止は困る
- ・ご苦労様です。
- ・入館料があってもよいのでは？入浴無しでも多少の金額で。
- ・日帰り温浴施設や交流施設等、同じ様な施設の増加や人口減少で利用する人の減少、開設した当時のことを思うと廃止するのは残念であるが、建物の存続は負担が多く難しいと思う。
- ・廃止せざるを得ないと思うができれば規模を縮小し管理人なしの休憩所にしたらいかが？
- ・気軽に行けるから。

- ・貸館機能は残してほしい。予約制などで人件費が削減できると思う。食堂はゆめ企画より仕出しで対応する(予約のみ)でもよいと思う。利用者の増加は山間部に位置しているので難しいと思う。
- ・町内会の総会等年間の中で利用を図る年間利用を取りまとめる。うみてらす等の送迎車を利用して人送を有する。定期的に町内会を軸に現状を周知する。利用会費制募り定期的に会合し現状を身近に周知する。
- ・入館料を 100 円くらいはいただき、入浴料も 400 円くらいはいただいたら？
- ・廃止されると淋しく感じるが、現在の人口維持はできないと思います。
- ・大湯や糸魚川から友人達が来て交流する場になっている。
- ・近くに憩いの場がなくなれば絶望の極みです。
- ・(入館料+温浴料) 支払って皆で楽しく遊べる場(語らいの場)があった方がいい。入館料は 300 円くらいあってもいい
- ・素泊まりできればいいと思います。帰省客は高齢の実家に泊まるより負担がかからないからです。
- ・負担が増えても存続して欲しい
- ・興味なし
- ・特になし
- ・料金が値上げなっても、ろばた館が、あればよいですね。
- ・災害時の避難場所として、機能できる状態で存続できれば良いですが。
- ・地区住民のために残した所で、今までと同じやり方では利用者は増えないと思う。経営の仕方が甘いように感じる。
- ・区の重荷になっているのなら、無くしても仕方がないと思います。
- ・継続してもらいたい。
- ・以前はよく利用させていただきましたが現在は高齢の為残念です。

- ・維持管理費がかかりすぎていて、利益がでないのであれば、廃止でいいのではないかな？  
地域の交流の場がなくなるのは困るが、利用者が何を必要としているか考えてこなかった結果だと思う。
- ・各種会合（同級会・接待等）でお世話になりました。  
中山間地域に住む人にとって必要な施設なのでなくさない方が良いと思います。多少の値上げはやむをえないと思います。
- ・自分のふろだとおもい 皆さんかいすうおおくする
- ・シルバーの方と料金がちがうが なっとくいかない
- ・料金はシルバーとみんなが一緒でいいと思う
- ・ろばた館は絶対に必要
- ・もう少し運営の仕方に創意工夫をすること、利益を求めるなら、やり方が悪いのもっと色々考えるべきだと思う。今のままでもダメでしょう。
- ・天然温泉なので、その部分はのこせればいいですが どーしたもんだかねエ〜
- ・ろばた館は初めは無かったのだから無くなっても困らないのでは。ただ、あるものをわざわざ無くす必要ないと思います。ろばた館のいいと思うところは、きれい、周辺のお庭は散歩するのに調度いい、福祉のお風呂がある、お風呂が気持ちいい、近所の歴史を知ることができる（上名立小の石碑、集会場、神社など）気軽に立ち寄れる施設であってほしい。ちょっと立ち寄り食べるものがないと困る（近くに店もない）  
昨年 10 年以上ぶりにろばた館を利用しました。家族は身体障がい者になり、私一人で利用しました。そばを注文しましたが おいしいと感じなかった。やすくておいしいそばでなければお客は二度とそばを注文しないのでは。ろばた館が地域住民が主に利用しなくなったのはなぜか、苦情・意見用紙をろばた館以外にも置いて住民の声を聞いてみてもいいのでは。  
近隣の施設など広く広報しなければ忘れてる人もいますし、知らない人も沢山いるのではないのでしょうか。ろばた館建設が話題にのぼった頃、名立住民の中で陰口悪口が減ったと聞いていました。  
《本来の目的『都市と農村の交流の場』を見直して》  
名立住民の話題にのぼる交流の場になってほしいです。  
例えば住民 1 人年に何回利用すれば収益になるとか名立住民に知らせてほしいです。 以上。
- ・南部地域の憩いの場として地域に管理を委託するなど、運営形態を見直したとしても存続できる道を考えてほしい。

- ・なくなってしまうのは残念ですが、仕方がないのかなと感じています。
- ・厳しいのですぐにでも廃止にして税金をせつやくしてもらいたい。米本じんもつぶれているので。
- ・経費が掛かるなら（いろり）のあるところを狭くして、脱衣所をもう少し広くしてもらいたい。利用者が少なくなっているので、広いところは必要ないと思います。
- ・南部地区の方には必要な施設かもしれませんが、年々人口が減少して、利用者も減るばかりなので、多額の公費を使ってまで存続する意義があるのかと疑問に思います。
- ・地域の交流の場として絶対必要だと思う！
- ・1人暮らしの老人はろばた館で入浴する事が楽しみと他の人達との交流を楽しみにしている人がいるので廃止は反対です。
- ・自分は利用しないが地域高齢者には必要だと思います
- ・ろばた館がみんなが利用する機会が多くなるよう何か考えれば良いと思う
- ・当初から公費の投入があったと認識しています。その後の改善策はどうなっていたのかよく分かりません。町議会ではどのように議論されてきたのでしょうか。把握していません。温浴施設も食堂も貸館も魅力が乏しいように思います。機能を充実させるには付加価値をつけることだと思います。温浴については高機能のシャワーヘッドを取り付けるとか行列のできる食べ物屋を誘致するとか夏季休暇には合宿の宿泊施設にするとか。存続を願うだけでなく一人一人の行動を望みます。私は年間14回以上の温泉に入ることを目標にしています。まだ5回ですが。
- ・入館料はぜったいに必要
- ・行政 地区住民の力では無理なのではないかと思います。経営能力のある会社に売るのはどうか？行政はやる気がないですもんね！
- ・設立当初から採算を念頭においた施設でなかったはずである。食事の味があまりよくない。工夫が必要である。
- ・町外の方で毎週フロを楽しみにしている方々のため出来れば続けてほしいです。
- ・有った方がいい
- ・今後 人口減少によって利用者も減少し廃止となると思います。うみてらすも同じだと思います。

- ・奇策はない ラーメン一杯食べる・・・住民は本当に危機感（ろばた館の廃止）をもっているのか・・・廃止もやむおない
- ・日本全体が縮小して為る現状では 今の利用状況では廃止するのが良い。人口減少では利用者が無く 仮に有ったとしても一部地域の人が有利なだけでは。
- ・入浴以外の場合も、入館料をとるべきと思う（現在は無料）
- ・名立区以外の人利用も多くあることから継続的にできるようにしてもらいたい
- ・事情は十分理解しますがろばたかんはこの地域にとってこれからも必要だと思います。大変なことと思いますがどうぞ子孫のためにも残しておいて下さい。お願いします。
- ・存続を願う
- ・ろばた館の修繕費が必要であれば寄付金を募ってみてはどうでしょうか？協力いたします。
- ・建設当時から比べれば当区も過疎化が進み、利用減になっている現状は理解しています。今後さらに過疎化していくとは思いますが、地区住民が寄り処としているろばた館を廃止すれば更に過疎化に拍車をかけることとなります。アンケートの依頼文の説明の中に公費投入額のこと記されていますが、市の中心部に住む人も、過疎の当区に住む人も同じ税金を払っていますよ。公費削減には別の方法もあるのではないのでしょうか。行政はそこを良く考えていただきたい。『**廃止絶対反対！！**』
- ・最終的な判断は 何が/誰が するのかはっきりさせて欲しい。名立区の人意見が反映されなかったらこのアンケートは意味がないし、答えられない。
- ・利用者が少なくなったということは、必要性が減少したことにつながる 無いより有った方がよいが公費の投入が多額で経営が困難であれば廃止も致し方ない。
- ・利用者が減少の状態では廃止して欲しい。
- ・コロナで大変だと思います。
- ・食堂のメニューをもう少しふやしてほしい。事前に料理の予約を取り（例、オードブルやおさしみ、からあげ）（他の所で準備してもらおう）当日、用意、手配して、少しでもマージンを回収する。2～3人の個室をもうけ利用してもらおう。
- ・多額の費用、公費を投入することは市民の公平をそこねるおそれがある。

- ・皆様の交流があった方がよい。入館料はとるべき、1日ゆっくり出来るのでいいと思います。
- ・地域活性化の為に必要な施設 イベント会場として区外からの人々を呼び込める事業ができると良いと思う
- ・利用人数からみて大広間をもっとせまくても良いと思っています。湯はあったまるし質も良いので大事にして欲しいです。
- ・風呂場が狭くて、4人入れればシャワーも使えなくなるので、最近は一切行きません。多額の公費を投入してまで維持する必要も価値も無いと思います。
- ・一部の高齢者のために公費を投入して維持する必要は無い
- ・是非活動の拠点として残す方向でお願いします。
- ・絶対に継続して行く様にして下さい
- ・料金をもっと上げるべき 1,000円未満に。
- ・温浴施設があつてのろばた館であり、風呂がなければろばた館の存続意味がない。
- ・自分自身は利用する機会は今はありませんが、近くのおじいさん、おばあさん達にはいい場所なんではないですか、私もこの先仕事を離れたらバスを利用して通えたらいいなと思います。廃止するのはちょっとさみしい気がします。
- ・食べ物の持込みがOKなので引き続きおこない、季節に応じた（今もやっていますが、今以上に）開館、閉館時間の見直しをする。うみてらすとの違いは落ち着けて癒やしになります！
- ・今まで通り温浴機能を残した上の継続的な存続の方法を探してほしい。
- ・年何回か友人同志で集まる場所です。ぜひなくさないでほしいです。
- ・コロナ禍において、今後のあり方の判断は難しいのでは？
- ・若者を集客することに努力すべき
- ・路線バスの時間帯が合えば行きたいと言っている人が多いので継続してほしい（時間は9時頃から4時頃位の帰りのバス）

- ・大広間に対して温浴機能が大きさに狭くお風呂でのんびりできる感じではない。  
大広場でのお茶飲みには良いが・・・地域の人の為残してもらった方が良いと思う。
- ・入館料無しで収益有る訳ないでしょう！
- ・ちょっとした集まり、会合等でも気軽に使いたいです。美味しいラーメンが何時でも食べられる！
- ・チケットのような形で各戸に購入してもらえば、老人、成人、子供と分けて各戸一冊以上。
- ・月の開館日を減らしても存続希望
- ・利用料金を上げてもいいと思う。
- ・ろばた館へは時々行きます。イベント、友達との集まり等でもいつも感じるのは名立の人の少ないこと。ろばた館がなくなれば困ると言ってもなぜ地元の人が利用しないのか。上越や糸魚川の方が毎週「こんな良いところはない」と言って一時間も車で来ている方もいます。地元の方がろばた館を残してほしいならもっと考えてほしいと思います。80歳
- ・昔いったけど今はっていない
- ・公費負担が増えても何とか存続できないものですか？
- ・地域の人が気軽に利用して集まる場になってほしい。
- ・存続を希望致します。
- ・これから地域内で気軽に楽しめる場、ろばた館へ行って友人と語り合いたいと思っているのですが、もう少し働かなくてはいけない時代となり。  
もう少しろばた館に頑張っていてほしいと思う一人です。
- ・温浴効果有り。この施設、下名立地区
- ・区外の方も多く利用されており、皆さん楽しく時を過ごされております。損得(赤字黒字)も必要ですが、今の時代安心安全な安らぎの場所も必要ではないでしょうか？  
是非存続できるようよろしくご検討をお願いします。
- ・目的の明確化が必要ではないでしょうか？ろばた館からのアナウンス発信とか、交通手段として事故のリスクがありますが、送迎一人500円とか、上教大の生徒による進路説明会とか、週1回の囲碁・将棋とか(役場OBの協力を得て)併せて子供達にクラブとして行う等。魅力ある場所がもう少し出来るのでは？と考えます。難しいとは思いますが頑張って下さい。



- ・現実を知りすぎていると良いアイデアがなかなか浮かばないかと思われます。YouTube など SNS を使って広く考えを募集するなどできたら思いもよらない選択肢が増えるかもしれないと思いました。コロナ後、世の中の人々が求めるものは変わると思うので、もう少し時間をかけて検討するのはどうかと感じます。何か1つ(例えばうまいそば, うまいラーメン)あそこにわざわざ行っても食べたいと思われる職人をつれてくるとか、育てるとか。全ての収入の面と地域の人のために安価に提供するの両輪ができればなと思いました。
- ・いつも月1回位で会議で利用させて頂いています。上越からも来られる方がいて、月1回なのですが楽しみに利用させて頂いています。現状は厳しいようですね。施設設備の老朽化となれば、多額な修理費もかかることでしょう。廃止となっても仕方ないと思います。(残念ですが…)
- ・ろばた館を利用している人の意見を聞いた方がいいと思う。
- ・なくなったらこまると思ふ。
- ・若い時は父さんと休みの時は、お昼頃から夕方までいて、何回か入っていたけど年とともにお風呂も入ると疲れを感じるようになって、回数も少なくなり友達から誘われた時しか行かなくなった。
- ・入館料をとって、風呂代は無料にする。今の持ち込み自由を考える。
- ・利用したくなるようなイベント等を考えてほしい。子供達が楽しめるような、老人が楽しめるような、広い空間を生かして。お盆帰省される方に素泊まりでも出来ると…思います。
- ・土日祝日だけ営業するとか、毎日営業する必要はないのでは…?と思います。名立に住んでいても一度も利用したこともなく、営業日、営業時間もわからないので、そーゆー人もいるので、地元の人に知ってもらう、来てもらうことから考えてはどうでしょうか。割引クーポン、無料クーポンなどの配布。コロナがまだ終息していないので、手軽に貸切ができようにする…とか。
- ・泉質が良く私の体質に合い入浴してくると体調が良くなり元気で明るい生活ができます。絶対に残して下さい。ろばた館にもアンケート用紙を置き地域外の方の意見も頂いたらどうでしょうか。
- ・ろばた館のあり方については何年も前から話が出ていると思いますが、ダラダラと存続を続けているようでは厳しい市の財政をますます追いつめる一因になっているので、はっきりした回答を早く出して欲しい。ろばた館に限らず他にもこのような施設があるのできちんとしてほしいと思います。
- ・色々大変な時期でもありますが、集いの場を何とか検討していただきたいと思います。

- ・他の施設にはないような特色のあるものにする…例えば岩波文庫本を全部そろえてあれば、本を読むのが好きな人は訪れるようになるかもしれません。
- ・もっとPRすること
- ・従業員が変わって残念だ
- ・高齢になるにつれて遠くへ出かける事が困難になるので、ぜひ近くで楽しめる場を残しておいてほしい。年金生活でも利用できる範囲の負担は増えても、存続を希望します。
- ・一年に利用する回数は少なくとも、この施設の設立の目的を果たしていると思われるので、多少の値上げがあっても受益者負担として当然と思うので存続を望みます。北部ばかり集中しがちなものには反対です。
- ・地域の憩いの場としてできた施設なので、なくなったらこまる。
- ・なくしられてはこまる
- ・入館料をいただく・食事のメニューを増やす・1ヶ月に10回利用すると1回タダになるとかサービス
- ・もっと上越市内全体に良い所をPRして、利用促進に努力してもらいたい・入館者にアンケート等を行い、利用者の意見を取り入れて運営に活用してもらいたい
- ・区民に負担が及ぶことであれば反対です
- ・カフェやスイーツがあれば若いお客さんが来るのではないかと？ヨガ、ピラティスなどのイベントや体験があったらいいのでは？
- ・利用することは少ないが、廃止になるとなんだかさみしい。なんとか可能であれば残してほしいと思う。
- ・廃止は反対
- ・地域の方々にとっては気軽に歩いてでも行ける銭湯のようなもので、生活に欠かせない場になっているのかもしれませんが、収支を見てしまうと存続は難しいように思われます。以前、職場で利用して際、ろばた館スタッフの対応、主に態度について不満が出て、利用が一度きりとなってしまいました。商売として続けるなら教育、指導は必須でしょうし、避難所として残すにも、イベントで人を呼ぶにも微妙な場所。馴染みの施設なので力になりたいは思うのですが、妙案もなく申し訳ない限りです。

- ・今はコロナ感染を恐れて入浴施設の利用はどこも減少していると思います。避難所に入浴施設があるということはとても貴重だと思いますし、コロナ禍でなければ利用する人はもっといると思います（私自身、本当はもっと利用したいと思っています）から存続してほしいと思います。うみてらす名立はチラシの割引券で350円で利用可能になります。ろばた館も共通として割引券を付けたらどうでしょう？
- ・現在コロナで人が集まることが制限されるため、子供連れ等で集まることはむずかしいですが、地元の高齢者の方々にとっては唯一の集いの場であり、年々高齢化が進んでいく上で、こういう施設がなくなってしまうとお年寄りの方の楽しみがなくなってしまうと思う。出来れば存続を希望します。
- ・休けいだけでも入場料を徴収したら良いのにとおもいます
- ・食堂は自動販売機の設置を考えながらろばた館は必要だと思います。
- ・バスを利用する人達はちょ度よい時間がないので利用することが困難だという言葉をよく聞きます。丁度良い時間にバスの運用が有れば利用する人もたすかるとおもいます。
- ・町外へ出掛られない人の為にも存続希望します。
- ・最近では新型コロナの影響もあり利用することはありませんが、子供が小さいときは保育園の母親同士で集まることも多かったです。若い世代の利用は見込めないかもしれませんが、お年寄りの方たちは楽しみの場が必要だと思うので存続を希望します。
- ・営利目的の施設ではないので存続するべきと思う。温浴機能はエコキュートを使用したほうが良い
- ・バスの運行時間を変更してはどうか（特に北部からの運行）静かな環境で心がやすまる
- ・存続お願いします。
- ・交通手段等（時間なども）考えて。
- ・無くなったらさみしくなる。バスの時間が良くない。
- ・食堂でつまみ等を提供したらよいのでは？
- ・心のより所です。
- ・昔はお世話に成りました。今後もよろしく。

・アンケートの質問と回答、添付資料だけを見ると施設は不要と判断されるかと思います。それは、問合せが閉館する前提での Q&A だからではないでしょうか。今更言うまでも無いことですが、肝心なことは『存在の意味と想い』ではないでしょうか。同施設は、近隣の方々や建設当時の名立役場に関わった方々が、現状と将来性を考慮し相当な時間をかけて検討した結果、最適な答えとして建設した施設です。利用者数が少ない事、公費投入されている事、建設以前から承知していた事かと思います。地域の公民館やコミュニティセンターなどと一緒で、必要な公費として考えて頂きたい。施設管理費が多額になることはどうにもならない事ですが、業績改善に向けての取組にはまだ不足があると思います。イベント開催においても参加人数が少なく賑わいに欠けます。解決策としては、これといったカンフル剤はありませんが、今まで以上に地域住民の協力や町内会長の協力を依頼して地味に協力者を増やして行く事が必要と思います。そして、年間計画をたて毎月イベントを実行していくこと（集客・売上確保）草刈など、環境整備計画をたてボランティアを募る事など（ファンを増やす）多少経費が必要になりますが、地域に依存する事が大切と思います。それには、総合事務所職員の積極的協力が必要不可欠と思います。現状では、一部職員（担当者・地元職員）の方が一生懸命に対応して頂いていますがもっと沢山の方（10～15名）に協力頂き地元の活性化、地域おこしに取組んで頂きたい。そして、何よりも“同施設をこうしたい”と強く想い積極的に実行していく事が必要です。